

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		教育委員会議運営事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名 中島正剛
	施策	19	義務教育の充実		所属課	学校教育課	担当者名 衛藤 文明
	基本事業	65	指導力の向上		所属班	総務施設班	(内線) 2224
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律
	1	10	1	1	11026		成果優先度評価結果 12 コスト削減優先度評価結果 6
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S31 年度) 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	地方教育行政の組織及び運営に関する法律で定められた組織で、毎月下旬に定例・臨時の会議を行う。地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)に定められた会議であり、規則によると昭和31年1月から開催されている。地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、平成20年度から教育委員に保護者代表の選任を努力義務から必ず選任しなければならないようになった。
【業務の流れ】	①教育委員会議開催。→②会議録の作成(反訳を委託)→③教育委員会議の議題を教育委員会各課からあげてもらう。→④会議通知送付(前回会議録と一緒に)→⑤教育委員会議開催(①へ繰り返し)⑥委員報酬については、年2回(10月と3月)に分けて支払う
【主な予算費目】	報酬費、費用弁償等
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特別にはない

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		(22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN))
① 手段(主な活動)	21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	
定例教育委員会議12回及び臨時教育委員会議2回を予定		
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)	(単位)
⇒ア 回数	回	イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標	(単位)
教育委員	⇒ア 教育委員数	人
	⇒イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標	(単位)
会議規則等に則った、公正かつ円滑な会議運営が行える	⇒ア 議案等数の内の可決割合	%
	⇒イ	
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア	回	14	15	14	14	14	14	
	イ								
⑤ 対象指標	ア	人	5	5	5	5	5	5	
	イ								
⑥ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	
	イ								
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	3,792	2,849	3,559		3,559	3,559
	(A) 事業費計	千円	3,792	2,849	3,559	0	3,559	3,559	0
人件費	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
	正規職員従事人数	人	4	3	3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	1,200	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	
(B)人件費計	千円	4,764	4,400	4,378	4,378	4,378	4,378	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	8,556	7,249	7,937	4,378	7,937	7,937	0	

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0
	0
	0

合志市

事務事業名	教育委員会議運営事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	------------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 会議開催のため特に向上余地はない。	
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷ 法的に設置が決まっているものである。	
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 会議録の反訳委託しているが、現在発言内容全部を記録している。要点をまとめた会議録にすれば、職員で出来、反訳する委託費も減り削減余地がある。	
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 最小の人員で対応しているので、正職員以外での対応不可。	
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 公的に人選された委員を対象とするため。	
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷ 法的に決まっている事業である。	

## 3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>法的に決まって事業なので特に無いが、議事進行がなかなかスムーズにできなかったことがあった。</p>
--

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止    <input type="checkbox"/> 目的再設定    <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携    <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)    <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
<p>(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 なし</p>																							